

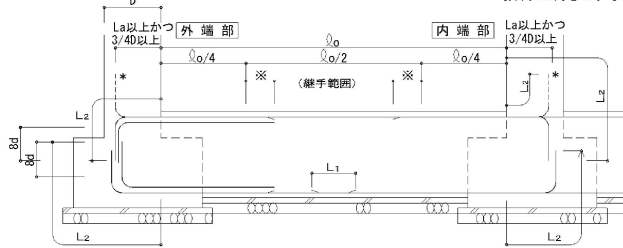
新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと

4. 地中梁

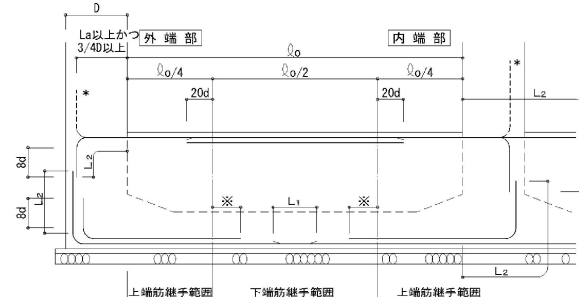
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)

(長期荷重が支配的な場合の継手は6.(2)大梁継手位置とする。)*上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる。



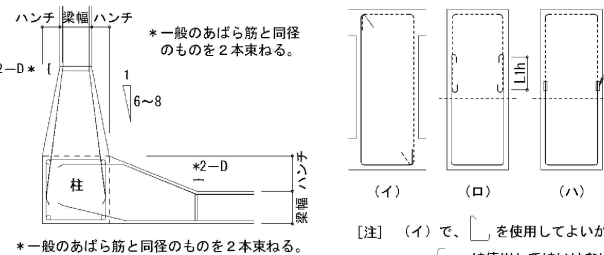
※主筋のカットオフ長さは $L_d/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)

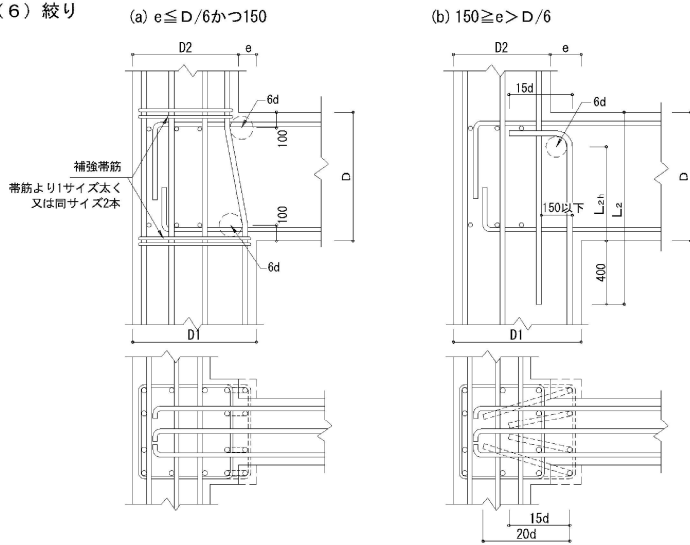


※主筋のカットオフ長さは $L_d/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6.大梁の項の表6-1による。

(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

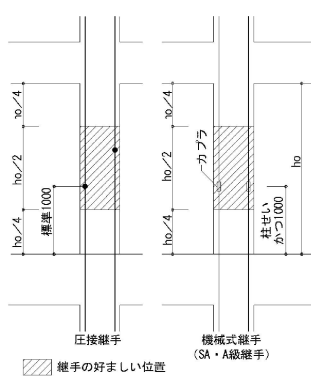


(6) 絞り

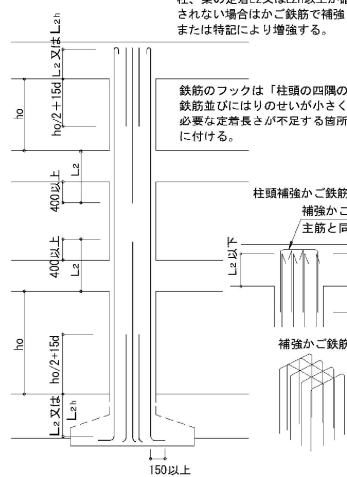


5. 柱

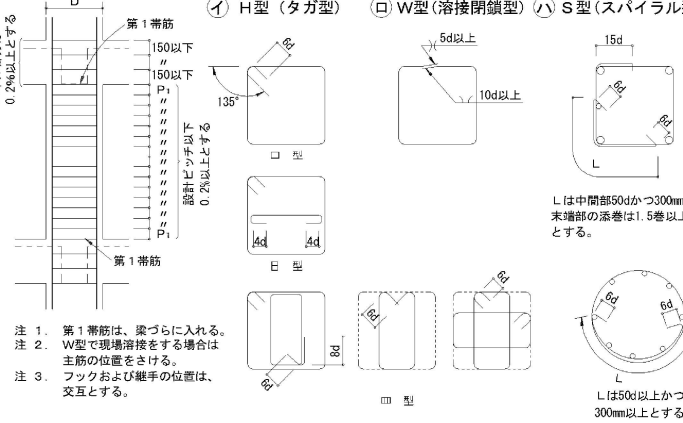
(1) 柱主筋の継手位置



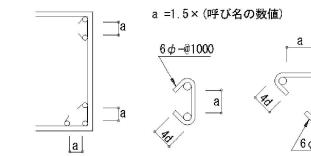
(2) 柱主筋の定着



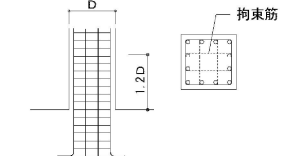
(3) 帯筋



(4) 寄せ筋の保持



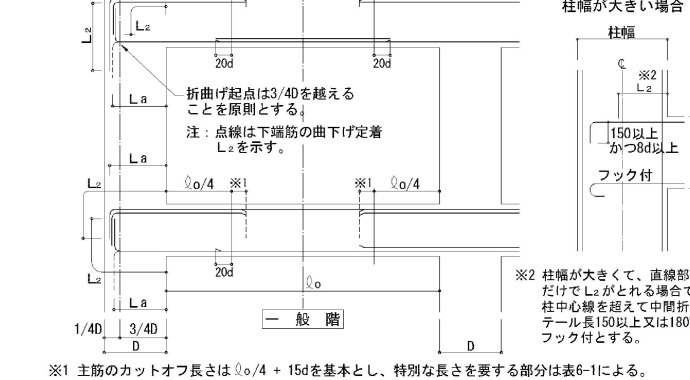
(5) 柱脚部の補強



6. 大梁

(1) 定着

① 一般



② ハンチがある場合

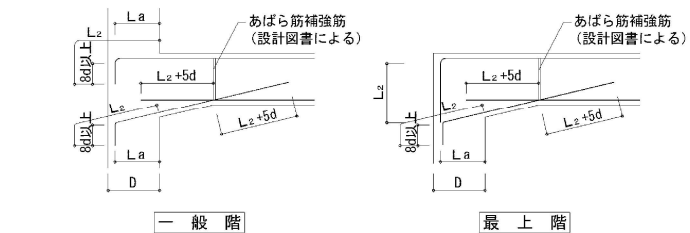
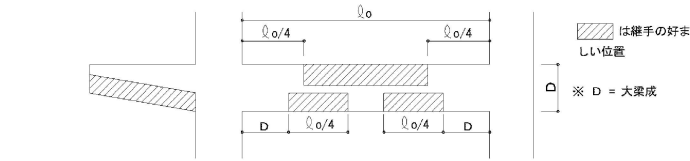
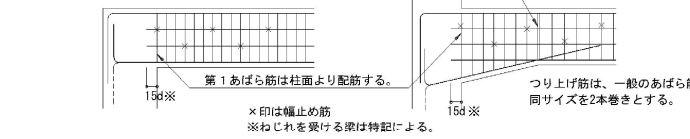


表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)			
部材名	$L_d/4$ に加える長さ	部材名	$L_d/4$ に加える長さ

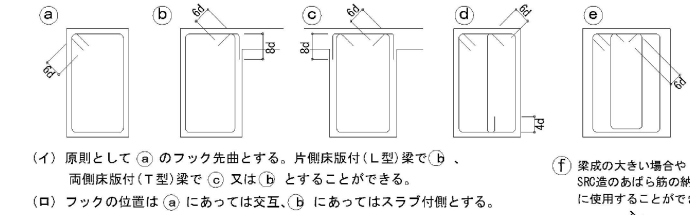
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型

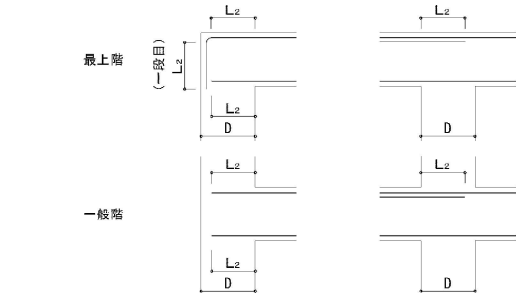


(5) 幅止め筋の本数、加工

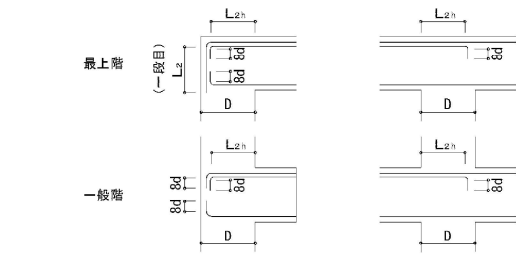
幅止め筋	D < 600 不要	
	600 ≤ D < 900	900 ≤ D < 1200
幅止め筋	2-D10 1段	4-D10 2段
	1200 ≤ D	D10@300以内
幅止め筋	1200以上	D13@300以内
	D10@1000以内で割り付ける	

(6) 梁主筋の定着

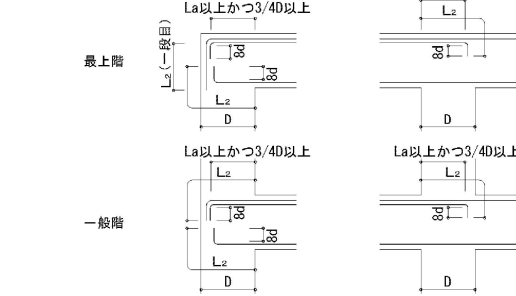
① 直線定着



② 90° フック付直線定着



③ 折曲げ定着



④ プレート定着

